

博多学シラバス

授業科目名	博多学
開講年度	2011
開講学期	前期
曜日時限	4/23、5/14 又は 21 に実地見学 6/11、6/18、6/25 に西南学院大学で集中講義
必修選択	選択
単位数	1 単位
担当教員・講師	<p>※は、各大学の担当教員</p> <p>【九州大学】</p> <p>※佐伯弘次 人文科学研究院教授 菊地成朋 人間環境学研究院教授</p> <p>【西南学院大学】</p> <p>※磯 望 人間科学部教授 高倉洋彰 国際文化学部教授 中村奈良江 人間科学部教授・教務部長</p> <p>【中村学園大学】</p> <p>※松隈紀生 短期大学部食物栄養学科教授</p> <p>【福岡大学】</p> <p>※渡辺亮一 工学部社会デザイン工学科准教授</p> <p>【福岡歯科大学】</p> <p>※上西秀則 機能生物化学講座感染生物学分野教授</p>
対象学部等	全学部
対象学年	1～4
開講地区	西南学院大学 他
履修条件	履修希望者数によっては人数制限をする場合がある。
授業概要	博多を博多湾や水事情などの「自然」、奴国や文化普及などの「歴史」、食文化、外来文化などの「文化」の面から考察する。
授業の目的 教育目標	<p>「博多学」を通じて、みなさんが今まさに学んでいる土地が、どのような場であるのかを学んでいきましょう。地域に関する知識（歴史、文化など）や、地域で行われていること（習慣など）を知ることで、地域に対する誇りを再確認することにつなげ、更にその誇りをグローバルに生きる「国際人」の自信として欲しいと願っています。</p> <p>以上のようなことから、みなさんの学習目標は大きく二つを考えています。ひとつは「博多」の魅力を自分の言葉で伝えることができるようになること。もうひとつは、地域を見つめる際にいろいろな視点が存在することを知ることです。</p>
授業の進め方	<p>実地見学は、4/23(土)、5/14(土)、5/21 (土) のいずれかに参加すること。</p> <p>講義は、6/11(土)、6/18(土)、6/25(土)の3日間の集中講義 計13時間30分</p>

授業計画

★**実地見学**<神社・仏閣・記念館・遺跡などの歴史的背景を理解する。>

福岡の歴史と文化探訪 別紙を参照のこと

【上西秀則 福岡歯科大学機能生物化学講座感染生物学分野教授】

3日の実地見学のうちから1日を選び参加すること。

4/23(土) 福岡市博物館などでの講義、学習

5/14(土) はかた伝統工芸館、博多町家ふるさと館、聖福寺での学習

5/21(土) 鴻臚館遺跡、宮崎宮の歴史を理解する。

★**講義**

6/11(土) 10:00~16:10

オリエンテーション(30分) 10:00~

【中村奈良江 西南学院大学人間科学部教授・教務部長】

博多と外来文化 (90分) 10:40~

【佐伯弘次 九州大学大学院人文科学研究院教授】

古くから大陸との交流の窓口であった博多は、さまざまな文化が交錯する場所であった。それらの中には、今日の博多に定着しているものもある。中世という時代を中心に、喫茶・家屋・産業等の生活文化、出版文化、仏教やキリスト教といった宗教文化などが、博多にいかに受け入れられ、今日にいたっているかを考えたい。

博多湾と博多の海岸線と地形の変化 (90分) 13:00~

【磯望 西南学院大学人間科学部教授】

博多湾の海岸線は海水準変化などに対応して、先史時代から歴史時代にかけて少なからず変化してきた。ここでは考古学的調査・古地図・地形調査などを利用して明らかになった、先史時代から現在までの博多湾の海岸線と博多の地形について検証し、都市基盤としての博多の形成と地球規模の環境変動との関連性などについて報告する。

古代の博多—奴国と隼県— (90分) 14:40~

【高倉洋彰 西南学院大学国際文化学部教授】

紀元57年に奴国王が「漢委奴国王」金印を後漢光武帝から下賜されたことはよく知られている。この場合の「国王」は中国に属さない周辺民族に与えた非常勤の官職で、奴国の王の地位を認めたのではなく、後漢の官僚として奴国の支配に当たったことを意味する。ここでいう奴国は後の隼県(なのあがた)や那津(なのつ)と「ナ」が通じており、金印の出土もあって福岡平野のことと考えて問題ない。さて、『魏志』倭人伝によれば、女王卑弥呼の大使として難升米という人物が派遣されている。後に、魏は戦争のときに先頭に掲げ魏軍であることを表示す

る「黄幢」を授与するが、それは卑弥呼ではなく、難升米に対してであった。ここに難升米の実像が垣間見えてくる。そこで奴国王と難升米の問題を検討することにする。

6/18 (土) 10:40~16:10

博多祇園山笠と都市空間 (90分) 10:40~

【菊地成朋 九州大学大学院人間環境学研究院教授】

都市祭礼としての山笠を解説し、それを手掛かりとして博多の町の成り立ちと空間特性について論じる。

博多の郷土料理と食文化① (90分) 13:00~

【松隈紀生 中村学園大学短期大学部食物栄養学科教授】

博多の正月料理 (博多雑煮、がめ煮、ぬたえ、七草汁)

博多の春の料理 (シロウオ、ひなまつり、タイ飯、あぶってかも)

博多の夏の料理 (アジの博多おし、あちゃら漬け、タラワタ)

博多のまつりと料理 (どんたく、山笠、放生会)

博多の郷土料理と食文化② (90分) 14:40~

【松隈紀生 中村学園大学短期大学部食物栄養学科教授】

博多の秋の料理 (ごまサバ、カマスの姿鮨、だご汁)

博多の冬の料理 (鶏の水炊き、もつ鍋、鶏ちり、イワシの湯豆腐、鍋具、せんぶきまげ)

博多の朝ご飯 (おきゅうと、高菜の油炒め)

博多のおもてなし料理 (吸い物膳)

昔ながらのおやつ

6/25 (土) 10:40~16:10

博多 (福岡市内) で何故、都市型水害が頻発するのか? その傾向と対策 (90分)

10:40~

【渡辺亮一 福岡大学工学部社会デザイン工学科准教授】

この1限目の講義では、福岡市内で毎年のように発生している都市型水害の発生メカニズムとその対処法についてお話しします。

博多湾の水質環境について、「豊かな博多湾の再生を目指して」 (90分) 13:00~

【渡辺亮一 福岡大学工学部社会デザイン工学科准教授】

この2限目の講義では、博多を流れる川がすべて流れ込む博多湾に関して、現状の問題点とその解決策について解説を行い、豊かな博多湾の再生のために何が必要かをお話しします。

	<p>グループディスカッション (90分) 14:40～</p> <p>【中村奈良江 西南学院大学人間科学部教授・教務部長】</p> <p>新しく発見した具体的な「博多」についてグループディスカッションに於いてお互いに確認し、お互いにどういう点をこれまで気がつかなかったのか、それはどうしてだと思ふのかについて議論する。議論した結果は、グループレポートの結果としてまとめて提出する。</p>
<p>試験／成績評価の方法等</p>	<p>在籍する大学の担任教員が、出席状況、講義毎に徴するペーパー、グループレポート等の情報により総合的に評価します。</p> <p>具体的には、前述の学習目標に照らして次のような課題を実施する予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「博多」の魅力を自分の言葉で伝えることができるようになるために、各授業で得た知識を授業毎に授業の内容をまとめます。 ○グループディスカッションの結果をグループレポートとしてまとめます。